

## 境川水系及び大岡川水系の浸水が想定される地域の皆様に 洪水ハザードマップをお届けします！

水防法改正に伴い、境川水系及び大岡川水系の洪水浸水想定区域の一部が改訂されました。これにあわせて、洪水ハザードマップの改訂版を作成し、浸水が想定される地域の世帯及び事業所に配付します。

### 配付概要等

- (1) 配付物  
洪水ハザードマップ（A1 版両面刷 + 案内チラシを透明ビニール袋に封入）
- (2) 配付対象  
洪水浸水想定区域内にある全世帯及び全事業所
- (3) 配付方法：  
郵便ポスト等に投函（業者による戸別配付）
- (4) 配付予定数：約 145,000 世帯・事業所（各 1 部）  
中 区：約 22,600 戸塚区：約 33,100  
南 区：約 37,300 栄 区：約 19,400  
磯子区：約 5,000 泉 区：約 10,800  
港南区：約 7,000 瀬谷区：約 9,600
- (5) 配付開始日：2月21日（金）から（予定）
- (6) 区役所窓口での配布：2月21日（金）から（予定）
- (7) その他、市ホームページにも掲載します。

[配付物のイメージ]



<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/flood-hmap/>

### 洪水ハザードマップとは？

地域の浸水リスクを知り、洪水時に円滑かつ迅速な避難行動につなげていただくため、河川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域や浸水深、氾濫時の危険箇所、避難場所等を表示しています。

あわせて、市民の皆さまに洪水に関する知識を深めていただくために、情報の入手方法や日頃の備え等について学習できる情報も掲載しています [裏面①をご覧ください]。

### これまでの洪水ハザードマップと、どこが変わったの？

平成 27 年の水防法改正を受け、これまでの計画規模の降雨（河川改修等の河川施設整備の基本となる降雨）に加え、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域を掲載しました。

また、最新の地形データや河川改修の状況等を反映したほか、メッシュサイズがより小さくなっています。

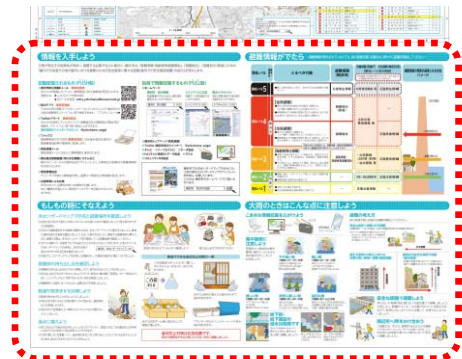
## 住民の皆さんに知っておいていただきたい情報も掲載しています

発災時の安全かつ迅速な避難行動につながるよう災害が発生する前に、住民の皆様を知っておいていただきたいこととして

\* 情報の入手方法、日頃の備えや心構え、安全に避難するための注意事項等を掲載しました。

\* 避難勧告等に関するガイドラインの改定（平成31年3月）に伴い、5段階の警戒レベルに応じた避難行動を掲載しました。

### ① 情報面



## 案内チラシを工夫しています

避難行動を促すことを目的として、人間の行動特性についての研究結果を活用した手法（行動デザイン）を取り入れました。

\* インパクトのあるタイトルや写真で災害リスクを強調しています。写真は過去に横浜市内で発生した水害のものです。

\* 情報を単純化し、警戒レベルに応じた避難行動を明確に示しています。

\* マグネット欄を設け、身近なところ（冷蔵庫等）に掲示しておくことを促しています。

\* チェックリストを設け、自分自身で記入することで、その行動がコミットメントとなって、実際の避難行動を促します。具体的には「自宅が浸水する深さ」、「避難先の候補」、「家族などの連絡先」、「避難（準備）するタイミング」の欄を設けています。

### ② 案内チラシ

（上：表面、下：裏面）



お問合せ先

総務局地域防災課避難等支援担当課長 芹澤 功悦

Tel 045-671-4360